真面目だけど頭のおかしい三つ編み眼鏡女子が性器を破壊されて精神崩壊する姿を楽しみます

暗闇魍魎

この作品はR18描写を含むため、18歳未満の方は閲覧禁止です。

HinaProject Inc.

注意事項

このＰＤＦファイルは小説家になろうグループサイトで掲載中の作品をＰＤＦ化したものです。
このＰＤＦファイルおよび作品の取り扱いについては、小説家になろう利用規約が適用されます。そのため、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止いたします。作品の紹介や個人用途での印刷および保存にはご自由にお使いください。

【作品タイトル】
真面目だけど頭のおかしい三つ編み眼鏡女子が性器を破壊されて精神崩壊する姿を楽しみます

【Ｎコード】
Ｎ３０７３ＪＡ

【作者名】
暗闇魍魎

【あらすじ】
タイトル通りの内容です。
少女が性器を痛めつけられる場面しかありません。泣き叫ぶ場面ばかりなので苦手な方は注意してください。
こんな内容なのでストーリーとよべるものもありません。ただひたすら少女が性器を集中的に破壊されていく内容です。ご了承ください。

一（前書き）

中学生の七瀬日菜子は、ある日ネットで見てはいけないものを見てしまう。そこから彼女は地獄に堕ちていった。

一

一

・・どんな気持ちなんだろう？・・

始めはこんな些細な好奇心からだった。自分と同年代のセーラー服を着た少女がロープで体を拘束されているサイトを覗き見てから日菜子は毎日その手のホームページを探しては画像を収集し、その画像を見ながら自慰に耽っていた。そして今日も下校後まっすぐに寮の自室に戻りパソコンの電源を入れるとネットに接続していた。

・・この女の子、嬉しそう・・

スカートを捲られ思い切り足を大きく開かされ拘束された少女は、怯えた表情とは対照的に露に晒された白い下着の股間部中心部に恥ずかしい染みが出来ている。

・・私もこんなふうに拘束されてマンコを観察していただきたい・・

日菜子は自分の性器が器具で乱暴に拡げられ、その中身までが詳細に観察されている姿を想像し息が荒くなってきた。

・・これも凄いよ・・

サムネイルをクリックした日菜子は表示された画像を見て興奮していた。白い下着を穿いた少女の股間に深く激しくロープが食い込み、割れ目を裂いている。少女は下着一枚の姿で目隠しされ口枷も着け

られ腕も後ろ手に縛られ、首輪に引かれ大勢の男が見ている前でロープが食い込んだまま歩かされている。

・・マンコにロープが食い込んだまま歩かされてる。この女の子のマンコどうなっちゃうんだろう？・・

日菜子は興奮して、どんどんクリックして画像を表示していく。少女は同時に鞭でも打たれているようだった。少女の顔面のアップもあった。目隠しから涙が滲み鼻水も垂れている。泣いている少女に何人もの男が容赦なく鞭を叩き込んでいる画像に日菜子は更に興奮する。

・・私もこの女の子と同じ事をされてみたい・・

日菜子の左手は知らず知らずのうちにスカートの中に入っていた。

・・あれ？・・

下着の上から自分の性器を擦っていた日菜子は、偶然動いたマウスの動きに反応したカーソルの形が一瞬、別ページにリンクされている事を示す指先のアイコンに変化したのに気が付いた。

・・なんだろう？・・

日菜子は変化した辺りにカーソルを動かしてみたが矢印のまま変化がない。それでも少しずつカーソルを移動させるとほんの小さな一点にリンクが貼られていた。迷わず日菜子はクリックする。

「せ、性器、拷問・・・」

黒地に赤い文字でタイトルだけ書かれたそのページを見た瞬間、日菜子は息が荒くなってくるのを感じた。

・・拷問、性器を拷問していただくの・・

日菜子はその赤い文字を見つめながら失神しそうなほど興奮していた。

・・女の子の大切な性器を拷問していただいたら、どんな気持ちなんだろう？・・

日菜子は取り付かれたようにページ内でカーソルを移動させ次のリンクを探しながら、自分の性器が普段より遥かに多く愛液を溢れさせているのを感じていた。

・・あった・・

そこにはセーラー服を着た少女の全身画像が掲載されていた。黒い髪を三つ編みにし眼鏡をかけた大人しそうな顔の少女が、両腕を後ろ手に縛られたまま自ら足を大きく開いて立っている。日菜子は、何となくその少女が自分に似ている気がした。外見が似ているのは勿論だが、その少女の発する雰囲気が自分と同じように感じる。そして、その画像の下に少女自身が書いたと思われるコメントが掲載されていた。

『このページを御覧の皆様はじめまして。私は遠山梨絵と申します。十五歳です。もちろん本名ですし、素顔も晒していますので私をご存じの方がいらっしゃるかも知れませんが、私は自分の意思でここに居りますので、どうか他言はなさらないようお願い致します。幼い頃から私の夢は、女の子の一番女の子らしい部分である股間の

割れ目を鞭・針・鑢等で徹底的に調教していただき最後に膣や子宮を処刑していただく事でした。残酷な拷問で性器を血まみれにされ泣き叫ぶ自分の姿を想像するだけで恥ずかしい液が溢れてきてしまう頭のおかしな私にとってようやく夢が叶ったのです。

前置きが長くなりましたが、これから私は五日間かけて徹底的に性器を調教していただきます。クリトリス、小陰唇、舟状窩、尿道口、膣口などの外性器をはじめ、尿道、膀胱、膣、子宮などの性器内部。女の子の一番女の子らしい大切なこれらの部分を拷問具で容赦なく調教していただき二度と使用できないようにしていただきます。クリトリスは無数の針で貫かれたうえバーナーで焼かれるという具合です。それは私の性器の原型がなくなるまで徹底的に容赦なく拷問されます。

そして、六日目には女の子の性器として使い物にならなくなった私の性器を完全に処刑していただきます。クリトリスは根元から抉り取られ、小陰唇もボロボロにされた末、切り取られます。尿道は裂かれ膀胱は破裂させせられた後、女の子の象徴といえる膣と子宮の処刑が開始されます。膣は考えられる限りの拷問でズタズタにされた後、処刑用の丸カンナを挿入され残酷に膣壁を少しずつ削り取っていただきます。膣が削り取られただの穴となってしまった後、子宮摘出が開始されます。そして、私の目の前で摘出された子宮は切り刻まれ燃やされてしまいます。瀕死の私は処刑執行までの延命装置を装着されそのまま放置されます。

最後の七日目、性器を処刑していただき女の子としての価値が無くなった私の処刑が開始されます。まず私の性器があった場所から鉄製の槍を突き刺していただきます。私に死の恐怖と苦痛を存分に味わわせるためゆっくり時間をかけて口まで貫通していただきます。その後、完全に串刺しにされたまま強力なバーナーで私の股間を焼いていただきます。生きながら串刺しにされ股間を焼かれた私は恐怖と苦痛と絶望でとうとう発狂してしまいます。しかし、発狂した程度で処刑は終了しません。私が完全に絶命するまで苦痛を与え続

けられます。
画像は私の処刑終了後、つまり私が完全に絶命したことを確認後、順次アップしていただくようお願い致しました。ただし、六日目と七日目の画像はホームページへの掲載予定はございません。この画像を御覧になりたい方は下記フォームに全て記入の上送信してください。ただし、記載内容をこちらで判断しますのでフォーム送信した全ての方が御覧いただけるとは限りませんので御了承ください。それではごゆっくりお楽しみください。』

・・処刑・・

日菜子は今まで想像したこともなかった世界にショックを受けていた。

・・完全に絶命・・

日菜子は息が止まりそうだった。

・・どうしよう、私・・

日菜子は椅子に座ったまま失禁していた。漏らした尿が股間を太ももを濡らしていく。

・・私も処刑していただきたい・・

一（後書き）

見てはいけないものを見て、それに魅入られてしまった日菜子の運命は決してしてしまいました。

二

二

身体にピタリとフィットした長袖ハイネックの黒いレオタードと黒いストッキング。さらにその上に女児用の股上の深い綿の大きな白い下着と太腿に食い込む白のオーバーニーソックスを身に着けた日菜子は、目隠しと猿轡を装着され手足を厳重に縛られ小さな箱に無理矢理詰められていた。これから日菜子は処刑場まで運ばれ、そこで様々な拷問で徹底的に性器を痛めつけられた後、残酷に処刑されることになる。

・・怖い、怖いよぅ・・

ガタガタと移動している間、日菜子は恐怖で嗚咽していた。今更泣いても自分の運命は変えることが出来ないのは分っていた。もはや日菜子の意思など何の意味もなく、日菜子は無様に泣き叫ぶ女の子というモノとして扱われ壊されていくのだ。それがよけいに日菜子の恐怖を煽っていた。

・・あっ・・

自分の詰められた箱が床に置かれた感覚で日菜子は息を飲んだ。全身から汗が吹き出してくる。

・・どうしたの？・・

日菜子は何時までたっても箱が開けられない事に不安を覚え始めた。

・・そういえば・・

日菜子は最初に告げられたことを思い出した。

『処刑するに値しない女子の場合、箱詰めのまま焼却処分に致します』

・・そんな、私、このまま燃やされちゃうの・・

日菜子は必死に身体を動かそうとしたが、手足を縛られているうえに小さな箱に押し込められた状態では身動き一つ出来なかった。

・・嫌ぁ、このまま燃やされるのは嫌ですぅ。私、女の子として処刑していただきたいんです・・

パニックに陥った日菜子には自分の周りの空気が熱くなってきたように感じられた。

・・嫌ぁ助けてぇーーーっお願いします、私を燃やさないでくださぃいーーーっ・・

失神寸前の日菜子は自分の髪の毛が乱暴に掴まれたのを辛うじて感じる事ができた。そして、日菜子はそのまま箱から引き吊り上げられた。

・・い、痛いぃ・・

髪の毛だけで宙吊りにされた日菜子の頬が思い切り打たれる。

「ふごぉぉーーーーっ」

続けざまに激しく打たれる日菜子の頬はたちまち赤く変色し、目隠しの下から涙が溢れ出していた。両腕を拘束されていてガードする事も出来ない日菜子の頬が連続で打たれる。

「ふご、ふご、ふごぉぉーーーっ」

塞がれた口で日菜子は絶叫する。いよいよ、自分に対する処刑が開始されると認識し日菜子の頭の中には、あのホームページの梨絵の画像と動画が浮かんでいた。

★★★★

必要事項を記入しフォーム送信した日菜子に返信がきた。日菜子はどうやら梨絵の最後の画像を見る事を許可されたようだった。何が審査の対象だったのかは定かではないが、梨絵の最後の姿が見られる事に日菜子は興奮し震える指でマウスを操作していた。

・・どんな風に処刑されたんだろう？・・

日菜子はまず六日目の画像を表示させる。セーラー服の梨絵が後ろ手に拘束され、首に巻かれたロープは天井に固定され、スカートが捲られ足を大きく開いたまま固定されているのは、それまでの性器調教の画像と同様だった。梨絵の白い下着の股間部分クロッチが切り裂かれ、性器が露出されているのも同様だ。違う所は梨絵の顔のアップ画像で分かった。眼鏡越しに涙が滲む目は変わらずだが、梨

絵の口にはボールギャグの玉が深く押し込められ、声が出せないよう厳重に口が塞がれていた。

・・そうか、この日は調教じゃなくてマンコを処刑されるから口を塞がれたんだ。この女の子がどんなに絶叫してもうるさくないように……。それほどの苦痛という事なんだよね・・

日菜子は、性器を処刑されるというのは、もう二度とその機能が失くなるほど破壊されるという事だ。それは想像を絶する凄まじい苦痛なのだろうと想像し息が荒くなると同時に興奮もしてきた。この梨絵という自分によく似た少女が残酷に性器を文字通り徹底的に壊されていく。この少女の性器はこの日、残酷に消滅する。それを想像し日菜子は画像を見る前から性器を激しく濡らし、まるで漏らしたようになっていた。

・・うわぁ　・・

いきなりだった。いきなりアップで梨絵のクリトリスをカッターで切除している画像が出てきた。クリトリスの根本にカッターの刃が当てられ、次の画像ではカッターの刃がクリトリスに食い込み血が滲んでいる。次にはクリトリスの半分が切り裂かれ、さらに次は3分の2が切り取られ、最後には切除されたクリトリスのアップ画像とクリトリスの失くなった梨絵の無惨な性器が撮られていた。そして、クリトリスを切除される際の梨絵の表情のアップも同時に掲載されている。目を見開いて涙を流す梨絵が、次には目を閉じ苦痛に絶叫している様子が手に取るように分かる。鼻の穴が大きく拡がり鼻水も垂れて、口からは涎も垂れている。そして、最後は放心したように目は焦点を失い虚ろな表情になっていた。

・・あんな敏感なところ切り取られたら、こうなるの？私も同じ表

情するのかな？私もクリトリス切ってもらいたい。そして、この女の子みたいに画像を掲載されて、みんなに見てもらいたいよ・・

日菜子は発狂したような梨絵の最後の表情に興奮しながらも震えていたが、それでも誘惑には勝てずマウスを持つ手は次の画像を表示させていた。

・・今度はビラビラも……・・

梨絵の小陰唇が引き伸ばされハサミを当てられている画像から始まり、徐々に小陰唇を切り取られていく様子が順番に表示された。もちろん梨絵の表情も掲載されている。涙と鼻水と涎で顔を汚し絶叫している梨絵の顔が鮮明に撮影されている。

・・これは何してるのかな？・・

次の画像を見た時、最初、日菜子は梨絵が何をされているのか分からなかったが、それぞれの画像に書かれている説明文を読んで理解した。どうやら梨絵は尿道から爆薬を詰め込まれているようだった。よく見ると梨絵の尿道から導火線が垂れているのが分かる。その導火線に点火され、導火線が燃え短くなっていくが、この時の梨絵の恐怖に歪む顔が最高だった。

・・おしっこの穴と膀胱に火薬詰めたと書いてあるけど、そんなとこ爆破されるなんてどれだけ怖くて苦しいの？・・

日菜子は、この梨絵の表情から激しく興奮しページをクリックする手が止まらなかった。そして、梨絵の膀胱と尿道が爆破された瞬間も克明に撮影されている。導火線が尿道に消えた瞬間、梨絵の下腹部が大きく膨らんでいる。火薬の爆発による衝撃だろうと思われる。

その後、梨絵の尿道から血と尿が激しく噴き出している画像が何枚も続く。その画像をよく見ると肉片のようなものも飛び散っている。当然だが梨絵の膀胱と尿道は完全に破壊されてしまったのが確認できた。梨絵はボールギャグの隙間から泡を噴いて無様に失神していた。日菜子は、その画像を見て恐怖で小便を漏らしていた。止めようとしても止められず、日菜子は小便を漏らしたままモニターに釘付けになっていた。

まだ梨絵には膣と子宮の処刑が待っている。次の日に処刑される前に、この少女は息絶えてしまうのではないかと日菜子は心配していた。日菜子は、この少女が完全に性器を破壊されて、その後今度は完全に絶命するまで処刑される哀れな姿を見たかった。

・・頑張って我慢して・・

日菜子は心の中で声援を送ったが、この画像がアップされているという事は、この少女がすでに絶命している事を意味している。そこに気付いた日菜子はかつてないほど興奮していた。

・・この女の子、もう処刑を執行されて殺されているんだ・・

性器を破壊されて殺される。日菜子は早くこの少女の最後の姿が見たくなり、次の画像を表示させた。

三

三

膀胱と尿道を破壊され、血と尿を噴出する梨絵の哀れな姿を見て日菜子はかつてないほど興奮していた。

・・凄い、凄いよ。本当にマンコを処刑しているんだ。早く、この女の子の膣と子宮も処刑している画像が見たいよ・・

日菜子はページをどんどん進める。そして、いよいよ日菜子の待ち望んだ膣破壊が開始された。梨絵の腰が動かないように３人の覆面をした男ががっしりと後ろと左右を押さえ付けている。梨絵は大きく目を見開いて何かを恐怖に怯え見つめているようだった。その何かは、直径５センチはある電動ドリルだった。しかも、そのドリル部分は真っ赤に灼けている。それが梨絵の股間の下に移動して膣に狙いをつけていた。

・・こんな太いドリル、マンコの穴に入れるの？それにこれ焼けてるよね・・

日菜子は思わず自分の両足を閉じていた。閉じていないと自分の膣にもあのドリルが入ってきそうで怖かったのだ。

・・これから自分のマンコの穴が壊される時の気持ちってどうなんだろう？私なら泣き叫んでいそうだけど、この女の子は平気そうな

顔してる。怖くないのかな？・・

日菜子は梨絵のあまりに普通の表情を見て、これ本当は合成写真や加工して作った画像なのかと疑いを持ったが、次の画像を表示した瞬間、そんな疑いの気持ちは吹き飛んでいた。

そこに表示されたのは、ドリルを性器に突き入れられて股間から飛び散る血と肉片の凄まじさと梨絵の断末魔のような表情だった。これが同じ人間の表情なのかと云うほどの苦悶の表情は一度見たら忘れられない。目をぎゅっと瞑り、涙と鼻水で汚れている。その顔が段々と変化していく。髪の毛を乱暴に掴まれ、顔を晒されている梨絵。夥しい涙と鼻水を垂らし、口からだらだらと涎も垂らしている。おそらく、塞がれた口で絶叫し続けているのだろう。そのうち、その口の隙間からブクブクと泡を吹き始め、白眼を剥いていた。無様に失神してしまったのだろうと思われた。

・・凄い。マンコの穴、本当に壊されてる。太いドリル入れられて裂かれて、焼けたドリルで焼かれて、そして、ドリルで膣を削られちゃってる。もう、この女の子のマンコ、死んじゃった。私がマンコの穴、壊されたら、どうしよう。私ならもう、すぐ処刑して欲しいな。マンコ失くなったらオナニー出来ないもん。でも、私もマンコの穴にドリル入れられて削られてみたいよ。どれだけ痛いんだろう。私もこんな風に、無様に泡吹いて気絶するんだろうな・・

その後のドリルを抜いた画像からは、梨絵の股間にポッカリ空いた穴が確認出来た。血が滴るそれは本当にただの穴になっていた。もう、この穴で気持ちよくなる事も、濡らす事もない。日菜子は、その画像を穴が空くほど見つめていた。

そして、膣が消滅した後、続けて梨絵の子宮の処刑が開始される。子宮口から金属の器具が挿入され、子宮奥まで容赦なく突き入れられる。そして、その器具は子宮の中で大きく拡がり、子宮内壁に爪

を立て、子宮の内側にがっしりと食い込む。その様子はエックス線画像で確認できた。その子宮に食い込む金属の器具に付けられたワイヤーが梨絵の膣のあった穴から垂れている。そのワイヤーの先端にある丸いリングに鉄アレイがぶら下げられた。凄まじい激痛で梨絵は思わず腰を落としてしまったようで、次の画像では男たちに腰を持ち上げられ無理矢理立たされていた。梨絵の股間で鉄アレイがブラブラと揺れている画像は、日菜子に激しい興奮を与えていた。

・・子宮にあんな重りぶら下げられたら痛いに決まってる。あの重り、どれくらいの重さがあるんだろう？・・

日菜子のその疑問に答えるように、鉄アレイの拡大画像も掲載されていた。装着されている鉄のリングの表面には５ｋｇと刻印されている。それが両端に装着されているので、計１０ｋｇの重さが梨絵の子宮に下がっている事になる。日菜子は１０ｋｇの重さを想像してみた。身近なものでお米の１０ｋｇ入り袋が頭に浮かぶ。

・・あんな重さのものが子宮にぶら下げられているの・・

日菜子は自分の子宮にぶら下げられた姿を想像してみるが、それは想像を絶する痛みなのだろうと震えが襲ってくる。以前、日菜子は自分の小陰唇をクリップで挟み５００ｍｌのペットボトルをぶら下げてみた事があったが、その痛みでも相当だった。それが子宮内に爪を立てる器具に１０ｋｇもの重りをぶら下げられる。それは日菜子の想像を超えていた。

・・でも、これは拷問じゃなくて処刑なんだ。これくらい当たり前なのかも・・

が、次の画像を表示させた時、日菜子はさらに驚愕する。なんと鉄

アレイの両端のリングが追加されていた。しかも、一気に片側３枚も。これで、合わせて４０ｋｇになる。画像をよく見ると、子宮が飛び出しているように見える。日菜子がクリックしてみると、拡大画像が表示された。ただの穴にされてしまった梨絵の膣があった場所から、薄赤色の子宮頚部が顔を出してしまっていた。それに梨絵は大便も漏らしてしまったようで、肛門からぶりぶりと排泄される大便が鮮明に撮影されていた。さらに、その後に重りのリングを追加している画像が続き、梨絵の子宮はもう半分以上引き出されてしまっていたが、その後も容赦なくリングが追加されていく。

・・当たり前だよね。子宮、殺すんだから・・

日菜子は震えながらも、残酷に子宮を引き出されていく梨絵の画像から目が離せなかった。梨絵はもう口枷を噛み千切ってしまいそうな凄まじい表情をしている。

・・よほど絶叫してるんだろうね。ここまできたら、もう取り返しがつかないの分かってるのに許して貰おうとしたのかな？・・

日菜子は、自分だったら必死に泣いて許しを乞うだろうと考え、それなのに口を塞がれてしまっていたら絶望で気を失ってしまうだろうと想像し怖くなってきた。
そして、ついに梨絵の子宮が引きずり出され千切れて床に落ちる場面が写し出されていた。股間から激しく血を噴き出している梨絵の顔は見物だった。

・・えへへ、この女の子、とうとう本当にマンコ全部処刑されちゃった。この後、串刺しにされて処刑されるんだよね。楽しみ・・

日菜子は最後の７日目の画像のリンクをクリックした。

四

四

性器を処刑された梨絵が、最後の処刑を執行され絶命する七日目。その画像が掲載されたページを日菜子は開いた。変わらずセーラー服姿の梨絵の全身が写っている。口を塞がれて足を開いて立っている姿は、今までと変わらなかったが今回梨絵は、背後の十字架のような拘束台に大の字に張り付けにされていた。そして、下半身はスカートも下着も剥ぎ取られ、処刑された性器が無様に晒されている。梨絵は股間から串刺しにされて処刑されるので、随分高い位置に張り付けにされている為、梨絵を下から見上げたアングルが多いが、カメラは何台も用意されているようで、正面や横から撮影した画像も掲載されていた。手足を拘束台に厳重に縛られ身動き一つ出来ないように拘束された梨絵は泣いているようであった。性器調教や性器処刑の前には、平気な顔で写っていた梨絵だったが、さすがに本当に処刑されるとなると我慢できずに号泣しているようだ。

・・今さら泣いても遅いよね。もう、この女の子絶対に助からない。残酷に串刺しにされて処刑されるんだ。ここまできて後悔してるのかな。馬鹿みたい。もう、マンコも壊されて生きてても何もないよね。早く殺してあげなよ・・

日菜子は、梨絵が早く処刑されないかとワクワクしていた。我慢できずに下着の中に手を入れ、自分の割れ目とクリトリスを刺激して

いたが、いつもよりも激しく濡れ始めていた。日菜子は、これから梨絵に身に振りかかるであろう激痛を想像し、息も荒くなってきていた。

「あっ、あっ、あっ、あっ」

日菜子は、モニターを見ながら自分が処刑される姿を想像していた。拘束され逃げることも動くことも出来ない自分の性器に鋭い槍が突き入れられ体を貫かれていく。そんな姿を想像し自慰していた日菜子は、かつてない興奮で頂点に達しようとしていた。

「おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おぉぉぉぉーーーーっ！！」

日菜子は頭の中が真っ白になり、体全体が性器になったような生まれて始めての感覚で潮を吹いていた。

ハァハァハァハァハァハァ

・・なにこれ、私、どうしたの？・・

初めての経験で日菜子は自分に何が起こったのか理解出来なかった。性器の割れ目を刺激していた指には白濁した粘液がべったりと付着し糸を引いていた。

・・凄い、こんなの初めて・・

日菜子は机の引き出しから30センチ程の長さのあるペーパーナイフを取り出した。しばらくペーパーナイフを見つめていた日菜子は、下着の上から自分の膣の位置を確認しペーパーナイフの切っ先を膣に突き刺していった。

「あうぅぅっ！」

自分の膣に入ってくるペーパーナイフの冷たい感触に日菜子は思わず声を上げていた。そして、その鋭い切っ先が日菜子の子宮に突き当たる。

「あひっ！」

そのチクッとした痛みで日菜子はまた声を上げていた。

・・もう少し押し込んでみたい・・

日菜子は膣にペーパーナイフを突き刺したまま椅子の座面を跨ぐと両手を万歳のように挙げ、少しずつ腰を降ろしていく。ペーパーナイフの柄が椅子の座面で押され日菜子の膣に押し込まれる。このまま、腰を降ろせばペーパーナイフは本当に日菜子の子宮に突き刺さる事になる。

・・まだ大丈夫だよね・・

日菜子はまだ腰を降ろしてペーパーナイフを押し込んでいく。ペーパーナイフの切っ先が日菜子の子宮に1ミリ程本当に刺さっていた。その激痛が日菜子をさらに興奮させる。

「あぶっ、あぶっ、あぶっ、あぶっ」

声を上げながら日菜子は考える。

・・もし今、足滑らせたら本当に子宮が串刺しになるんだ。本当に

串刺しになったらどうなるだろう。無様に白眼剥いて泡吹いて失神するのかな・・

そんな想像をしながら日菜子は意識が薄くなってくるような感覚に捕らわれていた。

・・あっ、本当に私、失神する。このまま失神したら……・・

「はひゅー、はひゅー、はひゅー、はひゅー」

日菜子はあまりの興奮で過呼吸になり、足はガクガク震え汗まみれになっていた。そして、シャーッと失禁していた。ペーパーナイフが突き刺さった下着から漏らした尿が溢れ出ている。

「あひゃぁぁーーーっ」

日菜子は糸の切れたマリオネットのように倒れていった。

しばらくして意識を取り戻した日菜子は自分の性器を確認してみる。膣にはまだペーパーナイフが刺さっていたが、子宮は串刺しになっていなかった。失神して後ろに倒れた為、日菜子の子宮は串刺しになるのを免れていた。日菜子は残念に思うと同時にホッと安堵もしていた。

気を取り直した日菜子は再び梨絵が処刑されていく画像に目を向ける。号泣する梨絵に恐怖と絶望を与える為、梨絵の眼前に鋭い槍の穂先が見せつけられる。その冷酷に輝く槍の穂先を見つめ、梨絵の顔はさらに恐怖で醜く歪んでいた。そして、次の画像では下からのアングルで梨絵の股間の穴に槍の切っ先が当てられている。おそらく梨絵は、これから自分の体を襲う想像できない苦痛に怯え、その

恐怖が頂点に達しているだろうと思われた。
そして、梨絵は串刺しにされた。
鉄槍が梨絵の股間の穴に深く突き入れられていく。梨絵は大きく眼を見開き大量の涙を流し、おそらく塞がれた口で絶叫しているのだろう。恐ろしい形相をしていた。梨絵の鉄槍を突き刺されている股間からは大量の血が噴き出している。そして、梨絵の塞がれた口が開放され、頭が後ろに倒されていた。日菜子は、その意味を理解して再び興奮してきていた。

・・もうすぐ、あの女の子の口から槍が飛び出すんだ。もうすぐ、あの女の子、本当にマンコから口まで槍を貫通されて完全に串刺しにされるんだ・・

想像通り次の画像では梨絵の口から血塗れの槍の穂先が突き出ていた。それも、最初は槍の切っ先のほんの先が見えていたものが、槍の穂先が突き抜け柄が見えるまで口から飛び出していた。

「はひゅー、はひゅー、はひゅー、はひゅー」

日菜子はまた自分が失神するのではと思うほど興奮していたが、画像はまだ終わりではなかった。梨絵の肛門に狙いをつけた、もう1本の鉄槍が写し出されていた。その槍は梨絵の肛門に突き刺され、1本目の槍と同様梨絵の体を貫通していく。そして、2本目の槍の穂先も梨絵の口から飛び出した。
口から2本の槍が突き出る梨絵の無様な姿を見て日菜子はまた性器を激しく濡らしていた。

五

五

散々頬をぶたれた日菜子は芋虫のように床に転がされていった。

「おごっ、おごっ、おごっ、おごっ」

目隠しされ猿轡もされている日菜子は嗚咽している。そして、日菜子を処刑する準備が整えられていった。日菜子は時間をかけて調教などされずに、いきなり性器を完全に処刑される。それは、日菜子自身が望み、希望したことだった。性器破壊。それは日菜子が常に妄想し、自慰の際頭に描いている事であった。日菜子の頭の中はそれしかないといって間違いなかった。

・・あの女の子みたいにマンコ壊されたい。徹底的に容赦なく私のマンコ壊して欲しい。そして、マンコから串刺しにされるの。あの女の子はマンコとお尻の穴だったけど、私は集中的にマンコがいいな。マンコに１０本位槍刺されて絶命するの。１０本も刺されたら凄いだろうな・・

日菜子は自分の願望が現実となり、この上ない幸せだった。この時までは……。

芋虫のように転がされている日菜子は、撮影機器の整った処刑室にズルズルと運ばれていった。そして、拘束台の前に立たされる。日

菜子は脚を大きく開かされ二度と閉じられないよう、逆Ｙの字状に身体全体をきつく拘束される。日菜子の着ている衣服は拘束される際に全て切り裂かれ、いったん目隠しと猿轡も外された。

・・あの女の子と同じだ。これで私のマンコ、破壊されるんだ・・

日菜子の処刑の準備が整っていく。様々な器具が日菜子の前に用意されているが、もう頭を動かす事も出来ない日菜子は、そこに並べられた器具を見る事が出来なかった。そして、処刑執行の時間までしばらく日菜子はそのまま放置される。その間に日菜子の胸に心電図のセンサーがセットされ、モニターに波形が映し出された。日菜子はそれを見て初めて恐怖の感情が湧いてきた。この心電図がフラットになる。つまり、日菜子が完全に絶命するまでは処刑は間違いなく執行されると暗に示していた。

・・私、本当に死んじゃうんだ・・

性器を破壊されるという方向にばかり自分の思いがいっていたが、処刑されるという事は当然自分の命もなくなるという事である。ここにきて日菜子は恐怖の感情に捕らわれ始めていた。

「あ、あの　お願いします　処刑は許して下さい　マンコは壊してくれて構いませんが、処刑は許して下さい」

日菜子は震える声で懇願するが、そんな日菜子の願いなど叶えられるわけがなかった。日菜子は、最後になって怖じ気づいた梨絵のことを笑っていたが、自分も同じ状況におかれ、まさに怖じ気づいていたのである。日菜子は懇願し続けたが、処刑執行の時間が無情にもやってくる。周囲の気配でそれを敏感に感じ取った日菜子は息を呑んだ。

「お願いします。許して下さい。処刑は怖いです。お願いしますぅぅ、許してくださいぃぃぃぃーーっ」

最後は絶叫になっていた。日菜子は震えながらお願いする。あれだけ梨絵の事を笑っておきながら、自分はもっと無様に命乞いしていた。しかし、当然ながら今さら何を言っても無駄な事である。日菜子に残された時間は、もう僅かしか残っていなかった。処刑道具と撮影機器の準備が終わり、いよいよ日菜子の性器破壊と処刑が執行される。嫌々と首を振る日菜子の頭が押さえられ、黒い目隠しがぐるぐると頭に巻かれる。日菜子は目を塞がれ発狂したように泣き叫んだ。

「許してぇぇぇぇーーー　お願いしますぅぅぅーーー　怖いですぅぅぅーーー！！」

日菜子はなんとか逃れようと無様に暴れるが、厳重に拘束されてしまった体は動かす事が出来なかった。その日菜子の口が押さえられ開口具が装着され、顎が外れそうなほど最大まで開口された。そして、日菜子の頭が後ろに倒され口が上を向くように固定される。日菜子は足を開かされ、口を上に向けられた事で、自分が性器から口まで完全に串刺しにされる準備が整った事を認識する。妄想の中では憧れていたシチュエーションであるが、実際にその姿勢に拘束されると恐怖以外の何者でもなかった。

「ふごぉぉぉ、ふごぉぉぉーーー」

もう日菜子は喋る事も出来なくなり口からよだれを垂らし、目隠しから涙が滲む程、無様に号泣していた。

・・助けてぇぇ、怖いぃぃっ！・・

恐怖で震える日菜子の耳にカチャカチャと金属が触れあう音が聞こえる。

・・あの女の子、何をされたんだっけ・・

日菜子は記憶を手繰り寄せる。日菜子の頭の中に梨絵の処刑画像が甦ってくる。

・・そうだ、クリトリスを切断されたんだ。その後、ビラビラも・・

日菜子は心臓の鼓動が速くなってきていた。

・・私もきっと同じ事をされる。クリトリスもビラビラも切り取られちゃうんだ・・

「はひゅー、はひゅー」

息も荒くなる日菜子の想像通り、日菜子のクリトリスに媚薬が塗られ強制的に勃起させられていく。そして、十分固く勃起した日菜子のクリトリスの包皮が剥かれ根本にメスが当てられる。

「はひゅー、はひゅー、はひゅー、はひゅー」

自分の敏感な部分に当てられたメスの冷たい感触に日菜子は過呼吸のようになっていたので、ビニールの袋が日菜子の口に当てられ、日菜子の呼吸が落ち着くまでクリトリスの切除は止められていた。日菜子は、梨絵が処刑される前に号泣している姿を見て馬鹿にしていたが、自分はそれよりももっと無様に号泣し惨めな姿を晒してい

た。しばらくして、ようやく日菜子の呼吸が落ち着いてきた。そこで、日菜子のクリトリス切除が開始される。

スッ！

「はびゃあぁぁぁーーーーっ！！」

日菜子のクリトリスにメスが入れられ日菜子は絶叫する。しかし、一気に切除はされない。日菜子に痛みと苦しみを与える為、ゆっくりと少しずつクリトリスを切断していく。

「いだいぃぃぃ、助けてぇぇぇーーーーっ！！」

日菜子のクリトリスはもう半分以上切断されていた。日菜子が普通の女であれば、これから先何年何十年も日菜子に快感を与えてくれたであろうクリトリスが切断されようとしている。

「いだいぃぃぃ、ちぬうぅぅぅーーーーっ！！」

ズバッッ！！

日菜子のクリトリスは切除された。日菜子は、まさにクリトリスを切除された時の梨絵と同じ表情をしていた。魂が抜けたような虚ろな表情。もう日菜子にクリトリスはないが、それで終わりではない。すぐに、日菜子の小陰唇が引き伸ばされハサミが当てられる。日菜子は、そのハサミの刃の冷たい感触に気付き、ビクッと体を震わせた。

ジョキン！

「はぎゃあぁぁぁーーーーっ！！」

再び絶叫する日菜子。

ジョリ、ジョリ、ジョリ、ジョリ、ジョリ、ジョリ、ジョリ、ジョリ

「いだあ、いだいよぉぉぉーーーーっ！！」

日菜子は開口されている口から舌を突き出して絶叫している。

ジョッキン！！

日菜子の小陰唇も完全に根本から切断されてしまった。日菜子は無様にクリトリスと小陰唇を切除され失神していた。しかし、日菜子はこれから更に性器を破壊され、その後、処刑されていくのだ。日菜子は地獄の苦痛に後悔しながら哀れに死んでいく事になる。もう日菜子に残された時間は僅かしかなかった。

六

六

日菜子はクリトリスと小陰唇を切除され失神していた。目隠しされ開口具を装着され、腕も足も体も拘束されている日菜子は、頬を激しく叩かれ覚醒させられる。そして、上を向かされている日菜子に見えるようにモニターがセットされ目隠しが外され眼鏡がつけられた。モニターにはクリトリスと小陰唇が切除された自分の哀れな性器と、銀の皿に置かれた物が鮮明に映し出されていた。日菜子は皿に置かれた物が何か分からなかったが、小さな豆粒のような物はクリトリス、その両脇に置かれた貝ひものような物体が自分の小陰唇だと気が付いた。股間のズキズキする痛みと共に日菜子は本当に自分の性器がもう取り返しのつかない事態になっている事に泣き出していた。

目から大量に涙を流す日菜子は、次に梨絵がされた事を思い出す。

・・膀胱爆破・・

日菜子はガタガタと震えていた。

・・あの女の子、おしっこの穴から爆薬詰められて、爆破されたんだ・・

膀胱を爆破された時の梨絵の顔が甦ってくる。自分も同じ目にあう。

・・当然だ。私のマンコ、拷問じゃなくて処刑されるんだから・・

日菜子はモニターの中で自分の、もうクリトリスも小陰唇もない無様な性器が拡げられるのを見た。そして、小さな尿道口にカテーテルが挿入される。

プッ

「はぶぅぅっ」

尿道にカテーテルを挿入され日菜子は声を上げる。尿道に物など入れた事のない日菜子にとって初めての経験だ。ずるずると尿道を擦り入ってくるカテーテルの感触に日菜子は息を止めていた。膣や肛門なら性具を入れられたりする事も想像できていたが尿道に管を入れられるなど梨絵の画像を見ていても想像外だった。そして、実際入れられてみると、ローション等が塗布されていない為尿道が擦られかなり苦痛を伴うものであったが、日菜子は自分の尿道に管を入れられているという行為に少なからず興奮していた。

「はぶぶぶぶっ」

ズブッ

そして、日菜子の膀胱にズルズルとカテーテルが突き入れられる。日菜子の膀胱に溜まっていた尿がカテーテルからチョロチョロと排出されていた。自分の意思とは関係なく排出されてしまう尿を撮影されている屈辱感に日菜子は興奮していた。この後に訪れるとても耐えられない激痛を忘れるように……。

日菜子の膀胱から貯まっていた尿が排出されると次の行程に作業が進んでいく。一旦カテーテルが日菜子の尿道から抜かれ、新しく先

端にバルーンが付いたカテーテルが用意される。そして、日菜子の尿道にまた挿入されていった。バルーン付きのカテーテルは日菜子の膀胱まで突き入れられ、そこでバルーンが膨らまされる。日菜子の膀胱一杯に広がったバルーンが確認され、次にそのバルーンの中に爆薬が詰め込まれていった。バルーン一杯にパンパンに詰め込まれた爆薬に起爆装置がセットされる。日菜子の膀胱爆破の準備が整うと周囲から作業をしていた人間が離れていった。まだ日菜子を殺すわけではないので、爆薬の量と配合を調整して日菜子の膀胱を破壊する程度の威力に抑えてあるが、念のため避難していた。あとはリモコンの起爆ボタンを押せば日菜子の膀胱は破壊される。日菜子は周囲の気配から自分の膀胱が爆破される時が近付いているのを敏感に感じとる。

「あばばばばっ」

・・怖い、怖い、怖い、もう、助けてぇぇぇぇ・・

日菜子は必死に助けを求めるが、その時はもうきていた。

カチッ

小さな音が響いた次の瞬間……。

ボンッ！！！

鈍い音が響き日菜子の下腹部が一瞬大きく膨らみ膀胱が爆破される。

「あぼおぉぉぉぉーーーーっ！！！！」

膀胱爆破からワンテンポ遅れて舌を突き出し、日菜子は絶叫してい

た。日菜子の股間からボトボトと肉片が飛び散っている。日菜子は、そのまま梨絵とまったく同じ様に口からブクブクと泡を吹いて失神していた。

どれくらい失神していたのか日菜子は分からなかったが、気が付いた時には次の性器処刑の準備が進められていた。日菜子が準備が終わっても覚醒しない場合は覚醒剤が注射される手筈になっていたが、注射せずに済んだという事はそれほど長い間気を失っていたわけではないようだった。日菜子は自分の下腹部の内部を襲う激しい焼けつく痛みに、自分の膀胱が本当に爆破された事を思い出していた。

・・私、もう、ここから逃げられたとしても生きてはいられないんだ・・

日菜子は現実に自分の死が近付いている事に恐怖していた。こんな事に喜んで応募してしまった事を後悔してもしきれなかった。

・・次は……。そうだ、膣だ。膣を削り取られるんだ。灼けたドリルでマンコの穴を大きく削られちゃう。私のマンコ、もうすぐ殺される。私もあの女の子みたいに、また無様に泡吹いて気絶するんだ・・

日菜子は、灼けたドリルで膣を削り取られている時の梨絵の凄まじい苦悶の表情を思い出していた。

・・私もきっと同じ顔をするんだ。そして、同じ様にマンコを殺されていく。もう私、マンコを壊されて死んじゃう・・

日菜子は恐怖で気が狂いそうだった。梨絵も同じ気持ちだったのだろうと想像する。

・・マンコを殺されるんだ。女の子なら、みんな同じ顔をするに決まってる。みんな、同じ顔をして頭がおかしくなって死んでいくんだ。あの女の子はどこで発狂したのかな・・

日菜子は、もう自分の頭もおかしくなっているのではと考える。

・・いや、元々、私はおかしかったんだ。こんな所に来てしまったんだから……・・

目隠しされている日菜子は、ギューンというドリルの回転する音を聞いた。

・・あの女の子がやられた事と同じ事を私もやられる。もう後、数分後には私の膣は失くなっている。私、そんな事、絶対耐えられないよ。お願い、少しでも短い時間で済ませて下さい・・

ささやかな日菜子の願いであるが、そんな願いが叶えられる程、現実は甘くなかった。

七（前書き）

最終話となります。

性器を破壊された日菜子に、ついに処刑が執行されていきます。

変態の日菜子の哀れな末路をお楽しみ下さい。

七

七

日菜子は周囲の雰囲気が変わった事を敏感に察知した。ドリルの回転音が自分の足下の方から聞こえるという事は、いよいよ日菜子の膣にドリルが突き入れられるという事だ。

「はひゅーっ、はひゅーっ、はひゅーっ」

日菜子はまた過呼吸気味になっていた。もうあと数秒後には自分の膣が破壊される。日菜子は恐怖で気が狂いそうだった。

「はひゅーっ、はひゅーっ、はひゅーっ」

日菜子にとって、それはとてつもなく長い時間に感じられ、もうこのまま永遠にそのまま時がやって来なければと思っていたが、それは突然やってくる。

チュイーン

「ひゃあぁぁーーーーっ」

自分の性器に当たる微かな感覚で日菜子は小さく悲鳴を上げていたが、それはすぐに耐えられない激痛に変わる。

ギュイーン！

「あばばばばばばばばばばばばばぁぁっ」

日菜子の膣に容赦なくドリルが突き入れられていき、舌を突きだし絶叫する日菜子の股間で血と肉片が飛び散っている。

「だじげでぇぇぇーーっ、マンコの穴、ぢぬぅぅぅーーっ、あびゃぁぁぁーーーっ！！」

しかし、日菜子がどれだけ泣き叫び命乞いしようとも許される事は決してない。日菜子の膣にドリルは容赦なく入れられていく。もう5センチ以上日菜子の膣にドリルは入れられ、日菜子の膣を削っているが、まだまだ時間をかけて日菜子を膣を完全に削ってしまうまでドリルは止まらないのだ。

デュイーーン！！

「あばばばばばばばばばばばばぁぁっ」

日菜子は白眼を剥いて口から泡を吹き始めた。日菜子の想像通り、梨絵と同じく膣をドリルで削られている日菜子はまったく同じ苦悶の表情で、同じく泡を吹いて白眼を剥いていた。膣をドリルで削られる激痛、これはやられた女子にしか分からない。そして、やられてしまったらもう女子として終わりなのだ。女子としての価値が失くなる。日菜子は、それをやられた。だから、日菜子は同じ事をやられた梨絵の気持ちがよく分かった。こんな事をされて快感も興奮もない、ただ恐怖と苦痛だけだ。

「あばばばばばばばばばばばばばぁぁっ」

日菜子は意味ない言葉を発しながら、早く終わって下さいとそればかりを願っていた。もう、とても耐えられない。このままでは自分は発狂する。しかし、日菜子の膣壁を完全に削り取るまでは膣処刑は終わらない。日菜子の膣の深さは事前の計測で9センチ程と記録されているので、深さもまだそこまで達していないので、残酷にドリルは日菜子の膣に押し込まれていく。

ヂュイーーン！！

「あばばばばあっ、もおゆるぢでぇぇぇーーっ！！」

拘束され動けない日菜子の膣にドリルはどんどん押し込まれていき、とうとう9センチまで突き入れられてしまった。日菜子の股間からは血と肉片が激しく飛び散っている。もう日菜子の女としての機能は破壊されてしまった。ドリルが抜かれた後の日菜子の股間にはぽっかりと直径5センチの穴が空いていた。日菜子は号泣しているが、すぐに次の子宮抜きの処刑の準備が開始される。日菜子も梨絵と同じ様に子宮も抜かれてしまう。この処刑で日菜子の性器は完全に破壊され、その後日菜子は串刺しにされ絶命する事になるのだ。

・・私のマンコ、死んだ。処刑されて殺された。もう気持ち良い事も出来ない。オナニーも出来なくなっちゃったし、もうすぐ私も死ぬんだ。あはっ、いい気味……。真面目ぶってるくせにド変態でドMのこんな女、早く残酷に処刑されれば良いよ。もう、マンコ処刑されて何の価値もない、ブスで根暗の変態女なんだから……。ああ、もうおしっこも漏らせないから、ウンコ漏らそうかな。あの女もウンコ漏らしてたよね。ウンコ漏らした方が後で私の処刑される画像見た人が興奮するかな。そうか、だからあの女もウンコ漏らしたんだ・・

日菜子は絶望と恐怖と本当に膣が処刑されたショックで頭がおかしくなってきていた。まともな思考が出来ていない。それでも日菜子はまだ責められる。日菜子は、性器を破壊されて絶命するまで許される事はない。

次の処刑〝子宮抜き〟の為、日菜子の股間にぽっかり空いた穴に器具が挿入され、さらに子宮口から子宮内に入れられる。子宮内に挿入された器具はがっしりと広がり、二度と抜けないように爪を日菜子の子宮に突き立てた。

「あびゃぁぁぁーーーっ！！」

体の奥の激痛に日菜子は悲鳴を上げるが、構わず器具に錘が装着されていく。まず10キロの錘だ。そして、無情に手が放される。

ぶらーん

「おっびゃあぁぁぁーーーーっ！！」

日菜子は子宮に錘を吊るされ絶叫するが、さらに錘は追加されていく。20キロ、30キロ。

「おっぼあぁぁぁーーーっ！あぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼっ！！！」

ぶり、ぶり、ぶり、ぶり、ぶりぃぃっ

日菜子も梨絵と同じ様に絶叫し大便を漏らしていた。黒い固形物が日菜子の肛門からぼとぼとと落ち、辺りに悪臭が漂う。日菜子の子宮はもう半分近く体外に引き釣り出されてしまっている。目隠しさ

れ開口されて股を開いて拘束されている日菜子の股間から子宮がその姿を現してくる。

ミチッ、ミチッ、ミチッ、ミチイィィッ！！

「あばばばばばばばばばばばあぁぁっ」

日菜子は子宮を抜かれていく激痛にもう何も考えられず、意味不明の言葉を発しながら、その体はぶるぶると痙攣していた。そして、さらに錘が追加される。

ミチッ、ミチッ、ミチッ、ブッチィィィッ！！

「おっびゃあぁぁぁーーーーっ！！おばばばばばばばばばばばばぁぁぁっ！！！」

ついに日菜子の子宮が錘の重さに耐えきれず引き摺り出され床に落ちると転がった。卵管は途中で千切れ、べちゃっと哀れに潰れている日菜子の子宮が、まるで汚いゴミのようにダストボックスに捨てられてしまう。日菜子は自分の下腹部から大事なものが失くなったという感覚はあるが、もう冷静に判断する事も出来ず、ただただ絶叫していた。

そして、いよいよ日菜子の最後が近付いてきた。日菜子を股間から串刺しにする鋭い槍が準備されていく。

「あひゃ、あひゃ、あひゃ、あひゃ」

意味不明の言葉を喚いている日菜子が既に普通の状態ではないと判断され、日菜子の目を塞いでいた目隠しが外された。涙を流す日菜

子の目は、もうどこにも焦点が合っていなかった。その虚ろな目と表情はもう正常な人間のものではなかった。哀れにも日菜子は性器を処刑され、精神が崩壊してしまっていた。しかし、精神が崩壊し発狂した程度で日菜子は許されない。日菜子の股間に槍がゆっくりと突き立てられていく。

ズズズズッ

「あっびゃあぁぁぁぁーーーーっ！！あばばばばばばばばばばばばばばぁぁぁっ！！」

槍はゆっくりと回転させながら日菜子の体を股間から貫いていく。日菜子の体はビクンビクンと痙攣を始めていた。

ズボゥッ！！

「あっぼぉぉぉぉーーーっ！！！」

開口具を入れられ天井を向いている日菜子の口から血塗れの槍の穂先が飛び出した。日菜子は、股間から口まで完全に串刺しにされていた。このままでも日菜子は絶命するのは間違いないが、さらに次の槍がまた日菜子の股間の穴に突き入れられ、日菜子の体を貫いていく。

ズボゥッ！！！

「おぼぼぼぼっ……」

日菜子の口から2本目の槍の穂先が飛び出した。日菜子は2本の槍で体を縦に貫かれ、口と股間から血を溢れさせていたが、さらに3

本目の槍が用意され今度は日菜子の肛門に切っ先が入れられる。そして、そのまま何の躊躇いもなく機械的に槍は日菜子の体に突き刺されていった。

ズボゥッ！！！！

「ごばぁぁぁっ……」

日菜子の口から3本目の槍が飛び出す。もう日菜子は完全に絶命しているが、性器を処刑され大便を漏らし3本もの槍で串刺しにされた日菜子の哀れな姿は、日菜子が絶命した後も様々な角度から撮影され、それはネットで一部の人間に配信され目を楽しませる結果になっていた。

★★★★

・・この女の子、マンコ壊されて串刺しにされて処刑されるなんて最高。私もマンコから串刺しにされたいよ……・・

自宅の庭の離れの自分の部屋でパソコンのモニターを見ながら一人の少女が自慰していた。

・・私も、処刑されると、こんな惨めな顔して絶命するのかな……・・

少女は、性器を処刑されていく日菜子の画像を最初から食い入るように見つめていた。

・・マンコ処刑されるんだから、当然耐えられない程痛いよね。この女の子も、もう最後にはウンコ漏らして発狂しちゃってる。あはっ、私もマンコ処刑されたい。マンコを徹底的に壊されて、この女の子みたいに無様に発狂して絶命するの……・・

少女は自分の膣に指を突っ込み、クリトリスを思い切り摘まんだ。

・・理津子、覚悟しなさい・・

少女は妄想の中で自分の性器を破壊する。

「おっ、おぉぉぉーーーっ」

プシャーーッ

少女は潮を吹き、生まれて始めてのかつてないほどの絶頂に達していた………。

七（後書き）

性器を破壊された挙げ句、残酷に処刑された日菜子はいかがだったでしょうか？

そして、また新たな少女が地獄に堕ちていきます……。

こんなお話ですが感想貰えると嬉しいです。

よろしくお願いいたします。

この作品の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
https://novel18.syosetu.com/n3073ja/

真面目だけど頭のおかしい三つ編み眼鏡女子が性器を破壊されて精神崩壊する姿を楽しみます

2024年11月6日06時43分発行